

大雨警報において、次のように表現します。

1 「見出し文」(*)の例

例1 □□市、△△町付近では、過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まっている。

例2 □□【細分区域名】では、平成○年台風第△号以来で最も土砂災害の危険性が高まっている。

(*)「見出し文」は、

警報本文の冒頭に表現しています。テレビの字幕などで利用できるように、簡明な内容で48文字以内としています。

2 本文の例

例1 □□市、△△町付近では、過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まっています。特に、△△町では台風第△号の時以来で最も土砂災害の発生するおそれが高まっています。

例2 □□市や周辺の○○郡では、過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まっています。雨域は北へ移動する予想で、現在大雨警報を発表中の▽▽【細分区域名】の○○市や□□町付近では、1～2時間後には過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まる可能性が出てきました。

例3 大雨警報を発表中の□□【細分区域名】では、平成○年○月○日の台風第△号の時よりも地盤が緩んでおり、その時以来で最も土砂災害の危険性が高まっています。

例4 ▽▽【細分区域名】では、山間部を中心に平成○年○月○日の前線による豪雨の時よりも地盤が緩んでおり、その時以来で最も土砂災害の危険性が高まっています。